

目 次

序 章 VDT 労働問題の現状	西山勝夫	(1)
本書の企画について		(2)
1. 日本における VDT 労働と健康に対する関心の高揚		(5)
2. 欧米の動向		(8)
3. 欧米で注目された健康障害		(10)
4. 欧米における VDT 健康障害への対応		(11)
5. 最近の欧米の話題		(13)
6. わが国における VDT 労働をめぐる動き		(14)
7. 労働時間の短縮		(18)
第 I 章 VDT 機器のあり方と目への影響	田村 博	(23)
1. VDT 機器のあり方		(24)
2. 作業姿勢と視線移動		(26)
3. ブラウン管		(28)
4. 表面処理		(29)
5. ちらつき融合		(31)
6. 蛍光体		(36)
7. 色と疲労		(39)
8. レンズ調節と焦点深度		(42)
9. インバート表示		(44)
第 II 章 VDT 労働の精神ストレスについて	酒井一博	(47)
1. 精神ストレスをどうとらえるか		(48)
2. 新技術と精神ストレス要因の検討		(56)
3. VDT 労働の見直し視点について		(65)

II

第三章	VDT 作業に伴う健康障害とその対策	宮尾 克	(71)
1.	VDT 作業者の自覚症状		(72)
2.	VDT 作業の目への影響		(75)
3.	VDT 作業と目以外の健康障害		(86)
4.	VDT 作業者の健康管理		(93)
第四章	VDT 作業の作業条件・作業環境のあり方	堀野定雄	(101)
1.	VDT 労働の特徴		(102)
2.	VDT 作業による疲れとは		(103)
3.	VDT 作業の負担要因		(105)
4.	ワークステーション——作業空間		(107)
5.	作業環境		(119)
6.	休憩の効果		(123)
7.	連続作業時間		(127)
第五章	労働省「VDT 作業に関する ガイドライン」をめぐる	細川 汀	(133)
1.	VDT 作業の現状		(134)
2.	労働省「ガイドライン」をめぐる 「VDT 作業における労働衛生管理の指標（中央災害 防止協会・調査研究部研究委員会）」について		(154) (160)
第六章	新聞産業の VDT「合理化」と 労働組合の対応	宮野伸介	(183)
1.	新聞生産のコンピュータ化		(186)
2.	生産機器として使われる VDT		(187)
3.	年をおって急増する VDT		(192)
4.	VDT「合理化」反対のたたかい		(194)
5.	心身の健康対策、国際基準の確立を		(199)

6. 総合的な VDT 労働の改善へ	(200)
第七章 新聞製作 VDT 労働と健康の実態	西山勝夫.....(205)
—「新聞製作部門労働者の労働負担と健康に関する アンケート」結果—	
1. 調査の目的	(206)
2. 調査対象と方法	(207)
3. 調査の結果	(208)
4. 結 論	(243)
終 章 VDT 労働——今後の課題	上畑鉄之丞.....(249)
1. VDT の現状——セミナーの要約	(250)
2. ソフトウェア労働者の状態	(252)
3. OA 化の進行と婦人労働	(254)
4. ME 化と中高年層の問題	(257)
5. VDT と有害物質、有害環境	(259)
6. VDT 労働による健康障害の病像と労災認定	(261)
7. ME 合理化と労働組合の課題	(262)
<参考資料>	
1. VDT 健康対策に関するマスコミ・文化共闘の「構造等の規 格」と「作業基準」の提案	(266)
2. 社会保険業務の新事務処理方式の実務に伴う事務処理機器操 作職員に係る健康管理要領〈社会保険庁〉.....	(273)
付・社会保険庁と自治労の協定書	(277)
3. スウェーデンの規則	(280)
▽「VDT 作業における視的不快の予防対策に関する指導要領」.....	(280)
▽作業姿勢と作業動作に関する国家安全衛生評議員会の規則	(281)
索 引	(285)